

校長室だより No 14

Iot 時代を生きる力をつける

2021年 11月12日 柏市立土小学校 校長 梅津健志

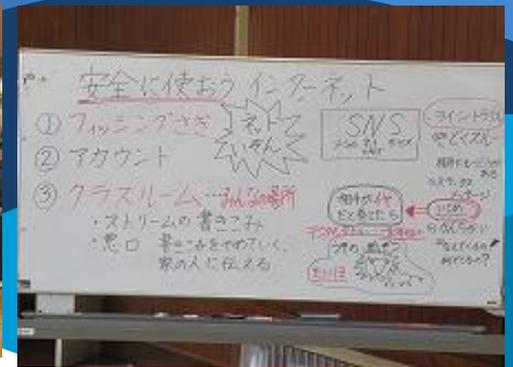
GIGA スクール構想により全国の学校で一人一台の環境が整って半年が過ぎました。本校では2年前から先行的に環境を整えて実践していたことにより、授業の中での活用がスムーズに進んでいます。夏休みから家庭への持ち帰りははじめ、ご家庭での活用状況はいかがでしょう？

授業中の活用の中で最も有効性が高いと感じるのは、学習課題に対してまず最初に一人一人が課題が出された段階での意見を書き込んで表現する場面です。今までは、予想という形で何名かの子供が発言をする場面です。例えば3～4人の子供が発言するとしたら、3分から4分程度の時間を有します。同じ時間で、一人一人が書き込みをするとそれなりに多様な考えが出てきます。発表型の授業では、比較的優秀な子供の発言により、正解に近い考えが出がちですが、全員が書くと多様になります。この点が大変重要なポイントです。

これからの世の中は正解が無いと言われていています。極端な例になりますが、 $13+6=20$ という予想が出たとします。答えは間違っていますが、どうしてそう考えたのかを説明してもらい、間違えた原因がわかることにより、間違えないための工夫としてどうすればよいかを話題として、間違えない方法を子供たち自身で見つけていけばよいのです。大人社会で言えば「まさにここがビジネスチャンス」になるのです。

このように、GIGA 環境は子供の学びを大きく転換する道具になります。一方で、世界につながるインターネットを持ち歩き、いつでも利用できる環境は、善と悪の両方を子供たちの意思次第でどちらにも利用できる条件を与えています。東京町田市の大きな犠牲から私たちは多くを学ばなければなりません。

子供たちに身近な危険である交通事故、昨年度の交通事故死者数は昭和23年から統計を取り始めて最低を記録しました。記録を始めた昭和23年よりも少なく、最大だった昭和47年頃の約6分の1になっています。自動車や自転車の台数は今の方が圧倒的に多いはずですが、犠牲者は最低となって背景には、技術革新とルールの徹底があります。ルールも技術も、自動車が世の中に出てきた段階で「こうあったならばいいな」「こんな使い方はダメだ」と初めからわかっていたことに明確なルール変更と技術革新を行ってきた結果と思います。今も、運転席でアルコールを検知するとエンジンが始動しない車の開発が飲酒運転防止に向けて開発されています。しかし、飲酒運転はそういう技術がないと防げ



ないのでしょうか？自動車の運転が生活に欠かすことができないという強い自覚、それを本当に自覚していたら飲酒運転は行わないでしょう。「ちょっとなら大丈夫」に自制が働くと思います。

子供たちに、PC やネット環境は、勉強や仕事をする上で必要不可欠のものであるという自覚を小さいうちから持たせたいと思います。日本の子供は PC やネットに最初にゲームで出会ってしまい、遊び先行の点が世界の事情と大きく違う所です。

今日は柏市教育委員会児童生徒課の指導主事による、「安全に使うインターネット」という特別授業を行いました。4年生と5年生が授業を受けました。

フィッシング詐欺、アカウントの利用、クラスルームのルール、SNS での事件から SNS の正しい使い方、LINE の使い方や LINE で起こりやすい事故などについて、オンラインゲームに潜んでいる犯罪のお話、具体的な例をあげ、子供たちが考えながら使い方を学ぶ授業でした。最後には、ネットに依存をしまい、生活が崩れてしまう危険性についても学びました。

今やインターネットは生活に欠かせないものです。全ての物がインターネットにつながる Iot 時代をしっかりと生きていく力として、ネットの社会での正しい行動の仕方について学びました。ご家庭でも、交通事故防止と同じように、ネット社会での正しい行動の仕方を親の姿を通して子供たちに実感をさせてあげて欲しいと思います。小さな頃に親から言われた注意は一生覚えているものですから。

また、土小学校の経営に関してお気づきの点やよい改善案は、お聞かせください。

入力フォームは、右の URL です。

<https://forms.office.com/r/BiUUZUnxvy>